

この説明書は本剤とともに保管し、服用に際しては必ずお読みください。

## 漢方薬局 旺樹の杜 六君子湯

六君子湯は、「万病回春」を原典とする、胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすい人の、胃炎、胃腸虚弱、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐に用いられる漢方薬です。

### してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3カ月未満の乳児。

### 相談すること

1. 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください

- (1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 高齢者。(4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
- (5) 次の症状のある人。むくみ (6) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

| 関係部位 | 症 状       |
|------|-----------|
| 皮膚   | 発疹・発赤、かゆみ |

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称           | 症 状                                               |
|-----------------|---------------------------------------------------|
| 偽アルドステロン症、ミオパチー | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。   |
| 肝機能障害           | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。 |

3. 1カ月位服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師又は薬剤師に相談してください

### 効能・効果

体力中等度以下で、胃腸が弱く、食欲がなく、みぞおちがつかえ、疲れやすく、貧血性で手足が冷えやすいものの次の諸症：  
胃炎、胃腸虚弱、胃下垂、消化不良、食欲不振、胃痛、嘔吐

### 成分と分量

1包（大人1日量）中に次の成分を含んでいます。

| 成 分 | ニンジン | ビャクジュツ | ブクリョウ | ハンゲ  | チンピ  | タイソウ | カンゾウ | ショウキョウ |
|-----|------|--------|-------|------|------|------|------|--------|
| 分 量 | 4.0g | 4.0g   | 4.0g  | 4.0g | 2.0g | 2.0g | 1.0g | 0.5g   |

### 用法・用量

本品1包に、水約500mL を加えて、半量ぐらいまで煎じつめ、煎じかすを除き、煎液を3回に分けて食間に服用してください。  
上記は大人の1日量です。

| 年 齢    | 大人（15才以上） | 14才～7才 | 6才～4才  | 3才～2才  | 2才未満     | 3カ月未満   |
|--------|-----------|--------|--------|--------|----------|---------|
| 服用量    | 上記の通り     | 大人の2/3 | 大人の1/2 | 大人の1/3 | 大人の1/4以下 | 服用しないこと |
| 1日服用回数 | 3回        |        |        |        |          |         |

### <用法・用量に関連する注意>

- (1) 用法・用量を厳守してください。
- (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。
- (4) 煎じ液は、必ず熱いうちにかすをこしてください。
- (5) 本剤は必ず1日分ずつ煎じ、数日分をまとめて煎じないでください。

### 保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります。）。
- (4) 煎じ液は腐敗しやすいので、冷暗所又は冷蔵庫等に保管し、服用時に再加熱して服用してください。
- (5) 生薬を原料として製造していますので、製品の色や味等に多少の差異を生じることがあります。

### その他

医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先

(独) 医薬品医療機器総合機構 <http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html> 電話 0120-149-931（フリーダイヤル）